

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	施設内の定期的な防災訓練はできているが、隣接の商業店舗や近隣住民との合同訓練はできていない。	今後も発生場所や場面設定等、訓練のシナリオ編成をしながら災害時の初動対応、救護救助方法等について実地訓練や机上学習を通して防災意識を高め、防災減災力を養いたい。	<p>&lt;避難誘導訓練&gt; 周囲の安全確認を行いながら的確な避難ルートや避難方法を選択マニュアルに沿った初動対応ができるように訓練を行う。</p> <p>&lt;初期消火訓練&gt; ・出火元での消火器を使っでの迅速かつ的確な初動対応(消火・通報・避難誘導)につ繰り返し訓練を行う。 ・消火器、消火栓の設置場所を把握する。</p> <p>&lt;応急救護訓練&gt; ・AEDの使い方や心肺蘇生法を熟知し、いざという時に迅速な救護対応が行なえるように訓練する。</p> <p>&lt;救助訓練&gt; ・家具、家屋の倒壊を想定し、瓦礫の下に埋もれた負傷者の救出や救護、担架の代用品活用方法等、救助方法を習得する。 ・防災頭巾やヘルメット等の防護用品はすぐ使用できるよう日頃から定位置に準備しておく。</p>	3ヶ月 ~ 24ヶ月
			感染症レベル引き下げ発令後の感染状況をみながら、地区、地域の会合(地区総会等)へ参加し、地震・津波に於ける緊急避難所としての佐伯の太陽が果たす役割を説明したり、南海トラフを想定した合同訓練の提案や発災時の協力要請等、地区や地域と連携が図れる体制整備に取り組んでいきたい。	<p>○連絡網を使った連絡確認訓練</p> <p>○徘徊搜索訓練 安心ネットワークの活用</p> <p>○防災、減災意識の醸成に努める。 ・大規模災害では公助の機能に限界が生じる場合もあるため、自助、共助に努め、日頃から顔の見える関係作りに取り組む。</p>	3ヶ月 ~ 24ヶ月

2	49 (18)	感染対策での規制もあり、今まで出来ていた居室での面談や帰省、外泊、買い物外出等、馴染みの人達との交流の機会が減り、気分転換やストレス発散、五感刺激を得難い状況にある。	発令や感染状況に応じて、予防や安全に配慮しながら一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせ、これまで培ってきた本人にとっての大切な人や地域とつながる機会、個人の力の発揮の場面を創意工夫し設けていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外出を生活の継続として捉え支援する。</li> <li>○気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として捉え支援する。</li> <li>○重度の利用者も外出困難と見なさず支援する。</li> <li>○職員の都合を優先せず、移動の配慮を行いながら利用者本位の外出を支援する。</li> </ul>	1ヶ月 ～ 24ヶ月
---	------------	---	--	--	------------------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。